



	資料5 部活動座談会「大人だけでは決めない部活動の地域移行」の開催について
	資料6 令和6年度尾北支所中学校総合体育大会実施要項（一部抜粋）
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	0 人
その他の事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、結論等)	
<b>1 開会</b>	
<b>2 あいさつ</b>	
<b>教育長</b>	第1回懇談会の後、令和6年7月1日に児童生徒に視聴してもらった動画を先に見ていただいた後に、議題に入りたいと思います。動画に関する子どもたちの意見も資料に含まれています。
<b>動画視聴</b>	
<b>教育長</b>	岩倉市における中学校部活動の地域連携・地域移行推進計画は方策1, 2の大枠しかなく、国も令和8年度以降の計画策定段階で、地域移行を地域展開に変更しようという動きがありますので、次回には推進計画の改正も議題にしたいと考えています。 また、間もなく中学校の入学説明会がございますので、新入生の保護者に示す部活動の方針や、次年度に取り組むことについてこの場で決まっていくとありがたいと思っています。
<b>3 議題</b>	
<b>議題(1) 各種アンケート調査の結果より</b>	
<b>学校教育グループ長</b>	資料1-1, 1-2に基づき説明
<b>指導主事</b>	資料2-1, 2-2, 3, 4に基づき説明
<b>会長</b>	資料2-2の問3「あなたが部活動に所属していて悩んだことや困ったことは何ですか。」、回答6「一度入部すると、辞めづらい・転部しづらい」について話を聞きかせてください。
<b>指導主事</b>	現場の先生に意見を聞きたいと思います。
<b>委員</b>	岩倉中学校は転部、退部はできる限り自由に出来るようにしています。今年度も何件かあったので、1回入部したらずっと続けなければいけないという意識は薄くなってきていると感じま

す。

**副会長：**3点話を伺いたいです。1点目は入試の推薦等への影響、2点目は先生との関わりが薄くなることによる学力低下の影響、3点目はバドミントンの希望が高いため、ダンスと同じく市側で活動の場を用意してもらえたらと思います。

**会長：**1点目、2点目について学校の意見ををお願いします。

**委員：**進路について影響はないです。生徒指導面に影響がないとは言えませんが学力低下について感じたことはありません。

**委員：**進路について、部活動が学校から離れることで、自分で活動しないと推薦等の評価の機会は減る可能性はありますが、有利不利はないです。

**会長：**学力低下については運動とのバランスをとった方が学力向上に繋がるという研究もあります。

**教育長：**地域移行によって部活動が減った時間をゲームに充てたら問題になるかもしれません。

**会長：**3点目について、市側の意見ををお願いします。

**教育長：**バドミントンの会長に話を聞いています。大人にも人気があって、場所も指導者も足りていない状況です。場所の不足については、部活動の地域移行で空いた学校内を活用できたらと働きかけをしている段階です。現状の規約が高校生以上になっているので、中学生の参加を認めるためには規約から変更する必要があるとのことでした。

## **議題（2）今後の取組について**

**指導主事：**資料5、資料6について説明。

拠点校部活動は在籍校に希望する部活動がない場合に他校で受け入れて部活動に参加するものです。例えば南部中学校に男子バレー部がないので、岩倉中学校で受け入れるといった形です。

**学校教育グループ長：**資料はありませんが、今後部活動指導員、部活動指導サポーターは増員予定です。

**会長：**拠点校部活動について、岩倉市内の動きはありますか。

**教育長**：まだありませんが、動き出したら岩倉市部活動地域連携・地域移行だよりで宣伝し、中学校の部活動説明会で話すことになると思います。

**委員**：懸念事項として、南部中学校の生徒が土日だけ岩倉中学校に来る場合、岩倉中学校の顧問の先生は指導が難しくなります。

サッカーでは合同部活動として部活動指導員を設置しています。拠点校部活動でも状況を整えてから開始したいと思っています。

**教育長**：その通りだと思います。県の作った規定によれば、校長同士の同意があつて、教育委員会が認めれば可能となっていますが、現実には問題があります。

片方の中学校しか部活動がない状況で、在籍していない中学校の生徒について対応するのは難しいと思います。

基礎体力作りみたいな部活を用意して平日対応できればいいとは思いますが、教員の負担が不安だと感じています。

拠点校部活動が可能であることが分かったという情報ですので、拠点校部活動を行わないという結論でもよいと考えています。

### **議題（３）これからの方向性について（意見交換）**

**委員**：中学生が参加する場合に規約を変えないといけないという団体に対する働きかけはどのようにしますか？

**教育長**：教育委員会が団体ごとに個別に働きかけをします。

**副会長**：中学生のみをまとめて特定の曜日で行うのはどうでしょうか。

**教育長**：中学生は中学生でまとまりたい希望がありますので、中学生の部を作るのが理想です。

指導者としてはバドミントン人口を増やしたい希望がありますが、仕事と掛け持ちとなるため、手探り状態です。

**副会長**：社会人の方が体育館の半面を継続して予約したりしているので、場所の確保が大変かなと思います。

**委員**：団体による体育館の予約について教えてください。

**スポーツグループ長**：岩倉市スポーツ協会の下部組織としてバドミントン協会があります。バドミントン協会としての活動には体育館予約の優先権があるのですが、現在の規約では中学生は参加

できません。

**委員：**バドミントン協会は団体として大会に参加していますか。

**スポーツグループ長：**把握はしていません。

**委員：**岩倉市民吹奏楽団は岩倉市文化協会の岩倉市音楽連盟に加盟している団体で、参加条件を高校生以上から中学生に規約改正をしています。

**委員：**参加促進策について、駅伝には今年も多くの生徒が参加しました。今は教員がコーチをしています。地域人材を公募する話に進展はありましたか。

学校外のサークルや教室へ子どもたちに参加をしていいと言われていても、子どもたちは初めてだと怖い面があるので、学校のイベントに来てもらって顔をつないで人脈を広げてきました。教育委員会がどう動いてきたか、バドミントン以外の団体についても教えて下さい。

**教育長：**具体的にはあまり進んでいません。イベントに来てもらった際に楽しんでもらうことで話を広げていきたいと思っています。

**副会長：**駅伝については陸上部の経験がある元教員の方々が主体になっていますが、一般の方についても増やしたいとは思っています。

**会長：**駅伝の協力報酬はスポーツグループで出していますか。

**スポーツグループ長：**金銭が出せないなので委託料の中から商品券等を渡しています。

**会長：**自分が学校現場にいた頃に、教員への協力依頼をもらいましたが、どのような立場で校長から教員へ命じるのかということが問題になったことがあります。指導者の拡充についてはデリケートな問題になると思います。

**教育長：**きちんと行うためには運営主体を設置する必要があります。現段階では生涯学習課に設置する想定ですが、人も仕組みも用意することになるため、令和7年度は無理だと思います。どれだけ早くても令和8年度で、予算等も伴うので議会からも承認をもらわないといけません。

**委員：**地域人材の拡充について、部活動指導サポーターは岩倉市吹奏楽団に来ていただいて本当に助かっていますが、現在の個人に対する謝礼だと、仕事をしている方にとっては確定申告に手間がかかる面もありますので、団体登録みたいな形で支払いたいと考えています。

セントラル愛知交響楽団に対しては団体として払っているため、岩倉市民吹奏楽団も同じよう

にして欲しいと思います。

**委員：**吹奏楽は岩倉市民吹奏楽団を基盤に地域移行したいと考えていますが、報酬がネックとなっています。南部中学校さんと同じく団体登録して随時来てもらう形にしてもらえたらと思っています。

部活動指導員及び、部活動指導サポーターの増員については、もうすこし早く8～9月頃には教えて欲しいと思います。合同部活動を実施するのに人を探さないといけないので、予算をつけてからの連絡だと見つけるのが難しいです。

地域人材について、岩倉中学校は部活動指導サポーターを増やしましたが、地元の人が少ないです。あいち地域クラブ活動人材バンクを利用していることもありますが、学校だけでは探すのに限界があります。

**教育長：**サポーターの団体登録について、事務局としての意見ををお願いします。

**学校教育グループ長：**団体登録は委託事業という形になるため、現状だとそこまで予算の獲得ができない状況です。事務負担があることは申し訳ないと思っています。

**委員：**個人で謝礼をもらって責任が発生すると気軽に参加しづらいため、団体に対して支払ってもらった方がありがたいです。

**学校教育グループ長：**公費だとなかなか柔軟な対応が難しいです。

**教育長：**現在の支払いは個人に支払って源泉徴収票も出す形となっていますが、何かできないか考えたいと思います。委託金になってくると縛りが重くなるのと、予算の組み方によります。

**副会長：**資格の準備等を考えると半年くらい前には予算の話を知って欲しいです。

**委員：**順次地域移行するというのはどんなイメージでしょうか。部活動指導員が入っているサッカー一部でも、両校の顧問は現地に行っているため、現状は地域連携となります。地域移行になると顧問が現地に行かない状態になりますが、任される人にとっては負担が重く、地域移行するにはまだハードルがあると思います。

サッカー部は令和6年度の2学期から新チームで活動し始めていますが、そのために指導者へ3月に説明を行い、半年後の9月に開始すると伝えてあります。部活動指導員を増やす部活動も説明が必要となるため、来年度前半の合同チームは2つだけになると思います。部活動指導員は来年度に増員する予定とのことですが、このペースだと地域移行に何年かかるのか不明な状況です。

**会長：**学校現場と教育委員会の擦り合わせについて教えて下さい。

**教育長：** 専門の人を用意する必要があると考えています。その準備が早くて8年度となります。

**学校教育グループ長：** 令和7年度の部活動指導員、部活動サポーターの増員についても、予算の最終調整が1月になってきます。今の時点での話は全て見通し扱いであり、誰にお願いするかなどは未定ですので、両中学校と相談して進めていきたいと思っています。

**委員：** 学校に生徒が通っていない地元の方にも広報して欲しいと思います。指導者を増員してもらえるかもしれないという話があっても、人をどうしようという段階です。

**委員：** ロードマップがないため、学校としては出来ることをする感じとなっています。逆算したいので岩倉市としては何年の何月から何をしたいのか教えて欲しいと思います。懇談会は今年度で終わりとなりますが、来年は部活動の地域移行のためにどのように進めていく予定なのでしょう

か。  
予算についても、11月ではなく、9月くらいには教えて欲しいと思います。顧問の先生にどう話すか、どこに声をかけていくのかに困っています。

**教育長：** ロードマップについてはまだ何も決まっていますが、策定の必要があると思います。

**委員：** 地域移行を推進していくための組織と計画を決める必要があると考えています。

モデルケースのサッカー部は現状では地域連携扱いだと思っていますので、先に進めるためには、地域移行とはどのようなものを指すのか、検討懇談会を今後どのような組織で協働していくかといったことを示していく必要があると思います。

**委員：** 親としての意見はありませんが、アンケートにあった子どもの意見は大事にして欲しいと思います。

部活動だったから参加している生徒もいると思いますので、そんな子どもたちが今後は何を選ぶのかは考える必要があると思います。

地域からの指導者について、この場にいるからニーズがあるのは理解できますが、市民としてニーズがあることは把握できないので周知の必要性を感じました。

#### 4 その他

**教育部長：** その他はありません。それぞれの立場からの課題を聞きたいいい機会だと思います。行政は予算に縛られるため、何年か先の約束がしづらい立場ではありますが、しっかり考えて次回の会議に臨みたいと思います。

次回の会議の前に部活動座談会「大人だけでは決めない！ 部活動の地域移行」について、ご出

席をお願いします。令和6年12月24日14時から15時半にアデリア総合体育文化センターの多目的ホールで開催されます。

**教育部長**：次回が最終回、2月頃に実施予定です。長時間ありがとうございました。